「医療は追い出し、介護は打ち切り」

医療・介護総合法の学習会を開催

7月22日㈫、東京南部生協と共催で、城南福祉医療協会の為壮稔さんを講師に、『どうなっちゃうの私たちの医療と介護』学習会を、大田区消費者生活センター講座室で開催しました。

6月18日に成立した「医療・介護総合法」は、持続可能な社会保障制度の確立を図るための改革を推進し、地域における医療および介護の総合的な確保を推進するといいます。しかし、その中身は「医療は追い出し、介護は打ち切り」の体制づくりをすすめる法律です。

こんな法律が、しっかりした議論もないまま強行され、成立してしまったことは絶対に許されません。私たちは「医療・介護総合法」の中身を知り、どのようにたたかい、安心して住み続けられるまちづくりをすすめていくかを考え、行動していかなくてはなりません。

学習会参加者の声

◎安倍政権の考えていることが、とても恐ろしい内容で「国民のため」になっている政策はほとんどない。ひどい内容ばかり、日本はどこをめざしているのか？　私たちが勉強し、賢くなり、改悪に対して行動していかなくてはと強く思います。

講師の為壮さん、参加は42人

◎医療と介護政策が悪化していることは断片的に知ってはいましたが、今日の講座で系統的に理解できて良かった。問題はこれからのたたかいだと思う。

◎社会保障がどんどん悪くなっていく。私たちの声を反映させられるように、さまざまな運動を！　私たちも、もっと学んで賢くならないと…。

◎どんどん悪化していく介護保険制度、税負担は増えても、国民のためには使われていない現実は、この国の国民を大事にしていないのが、いよいよはっきりしてきたと思う。自分で考え、健康を保ち、介護される側にならないように、自分から気をつけていくしかないと思う。

分野別		改革事項	法案提出時期	実施時期
医療制度	供給体制	病床機能に関する情報を都道府県に報告する制度の創設	2014年通常国会	2017年度まで順次
		地域医療ビジョンの策定（都道府県の役割強化）		
	保険制度	国保の財政運営の都道府県化、市町村との役割分担	2015年通常国会	2017年度まで順次
		外来・入院に関する給付見直し		
		70～74歳の一部負担金の2割負担化（5年かけて完全実施）	2014年度予算措置で実施	
介護保険制度		要支援者への支援の見直し（介護保険給付対象から外し、市町村の地域支援事業へ切り替え）	2014年通常国会	2015年度めど
		一定の所得を有する利用者負担を引き上げ（1割⇒2割へ）		
		特養ホームの補足給付支給要件に資産を加える		
		特養ホーム入所対象者を中重度（要介護3～5に限定）に見直し		

社会保障制度改革推進法にもとづく改悪メニュー
（医療・介護の主な項目）

たまご通信　その16

さようなら脂質異常症

星野弘子
（女子栄養大学
食生活指導士1級）

シュークリームみたいな雲が家並みの向こうに重なっている。熱気が立ち上る街頭から、スーパーの食品売場に避難した。惣菜と弁当の売場が盛況である。野菜がまったく入っていない弁当は、カロリーが2食分で脂肪は4日分も入っているのが山積みだったからあ然とした。この夏は脂質異常症の相談が多かったので、中性脂肪とコレステロールのおさらいをしよう。

バランスが大切

中性脂肪は皮下や内臓の周りにくっついている。食べた栄養があまったら脂肪に変えて蓄えておき、エネルギー源として使うのである。増えすぎると動脈硬化を促す。コレステロールも脂質だが、エネルギー源にはならない。細胞膜をつくり、ホルモン・胆汁酸の材料にもなるので人体には欠かせない。血管を通って全身に運ばれてゆくのがLDLコレステロールで、それが余ってくるとHDLコレステロールが回収してまわる。中性脂肪が増えすぎると、回収係のHDLが減り、LDLは余りっぱなしで弾力のなくなった血管に血栓が生じてくる。3者のバランスが大切というわけだ。では、どんな食事を摂ればいいのだろう。

惑わされないように…

主食は食物繊維の多い胚芽米・全粒粉パン・麦めしなどがよい。肉は脂身を切り落とすか、赤身肉を。鶏肉は皮をはずす。肉の脂肪は50度位で溶けるので、人の体内では固まりやすい。

青魚は多めに摂ろう。そして野菜と海藻をたっぷり。食物繊維と抗酸化作用が働いてくれる。低脂肪で良質タンパクの大豆製品もよい。アルコール・スイーツは控えめにしよう。調理用の植物油はLDLを下げてくれるリノール酸やオレイン酸を多く含む製品が売られている。油はどれでも、1グラムが9キロカロリー（タンパク・炭水化物は1グラム＝4キロカロリー）だから、1日の適量は大さじ1杯くらいである。油料理は1食で1つにしよう。

まずは健康診断を受けて、高すぎたり注意を促された方は、10月からはじまる「わくわくヘルスチャレンジ」に仲間を誘ってとりくみ、話し合いながら成果を上げていこう。

「○○さえ食べていれば安心」という類いの広告をよく目にする。よい食品であっても、他の食品とバランスよく食べることで、その相互作用によって効果を発揮する、というのが真実だから、売らんかなの広告や、無効の物に惑わされないようにしたい。

「城南の保健」手配りボランティア募集

城南の保健は組合員と協力医療機関、事業所職員のボランティアによって、手配りで配達されています。手配りは組合員どうしの助け合いでも大変重要な活動です。手配りボランティアをして下さる方には援助金が出ます。みなさんのご協力をお願いします。

戸　越２丁目	41件	大森西２丁目17	7件
西品川１丁目19～30	45件	西六郷２丁目31～39	10件
大　崎２丁目	13件	西六郷２丁目55～59	6件
東品川１丁目６～34	9件	南六郷３丁目	17件
北品川５丁目	7件		
南品川１丁目	6件		
南品川２丁目	6件		
上大崎１～４丁目	4件		
東五反田２丁目15	9件		
東五反田３～４丁目	6件		

『薬剤師 急募中！　薬剤師さんをご紹介ください』

地域医療をまもる薬局　（株）城南医薬保健協働

(URL) http://jyounaniyaku.co.jp/　(メール) jyounaniyaku@mte.biglobe.ne.jp

本部	〒143-0012	大田区大森東4-18-3	tel.3298-2421 / fax.3298-2422
大森薬局	〒143-0014	大田区大森中1-22-1	tel.3298-4901 / fax.3298-4904
みつぎ薬局	〒141-0033	品川区西品川2-6-4	tel.3493-1493 / fax.5434-8747
うのき薬局	〒146-0091	大田区鵜の木2-2-9	tel.5482-8931 / fax.5482-8933
目黒本町薬局	〒152-0002	目黒区目黒本町6-6-5	tel.5720-5048 / fax.5720-5049
東六郷1丁目薬局	〒144-0046	大田区東六郷1-24-16	tel.5714-4193 / fax.5714-4194
上目黒4丁目薬局	〒153-0051	目黒区上目黒4-21-9	tel.5724-4193 / fax.5724-4198
介護ショップらくだ	〒143-0012	大田区大森東3-9-18	tel.5762-8568 / fax.5762-8569
福祉タクシーらくだ 本社営業所	〒143-0012	大田区大森東3-9-18	tel.3763-0204 / fax.5762-8569

福祉タクシー　らくだ

タクシー運賃・料金は普通タクシーと同じ初乗運賃1,430円です。福祉タクシー「らくだ」は、車いすに乗ったまま、安全運転でお送りいたします。付き添いの方も3人までお乗りいただけます。

寝台車両の運賃は国土交通省認可料金です。
（各営業所へお問い合わせください）
営業時間　午前７時～午後７時
受　　付　午前９時～午後５時
年中無休

本社営業所
TEL 3763-0204　FAX 5762-8569